

令和6年度第1回
島田市デジタル田園都市構想市民会議

令和6年8月6日

会議要録

令和6年度第1回 島田市デジタル田園都市構想市民会議 会議要録

会議の名称	令和6年度第1回 島田市デジタル田園都市構想市民会議	
事務局(担当課)	島田市市長戦略部戦略推進課	
開催日時	令和6年8月6日(火) 10:00~11:55	
開催場所	島田市役所4階 第2委員会室・第3委員会室	
議題	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生のこれまでの経緯 ・令和5年度 第2期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価書(案) ・第2期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総合評価書(案) 	
出席者 ※敬称略	市民会議 構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・島田市自治会連合会 常務理事 渋谷 俊弘 ・一般社団法人島田青年会議所 理事長 岩本 智(欠席) ・株式会社FM島田 代表取締役社長 飯塚 誉之 ・島田市小中学校PTA連絡協議会 会長 磯田 辰哉 ・特定非営利活動法人クロスメディアしまだ 理事長 大石 歩真 ・島田商工会議所 副会頭 鈴木 國近 ・島田市商工会 副会長 白坂 成吾(欠席) ・島田市観光協会 理事 西村 孝明(代理出席 鈴木 将之) ・島田市農業経営振興会 会長 鈴木 聡 ・島田樟誠高等学校 校長 杉本 寿久(代理出席 副校長 須藤 隆広) ・島田市校長会 会長 山口 泰弘(代理出席 副会長 神谷 紀行) ・島田掛川信用金庫 地方創生室主任調査役 成瀬 晃伸 ・島田榛北地区労働者福祉協議会 会長 樋熊 敦志 ・島田公共職業安定所 所長 澤野 康之 ・静岡県立大学 経営情報学部1年 鈴木 心菜 ・静岡県立大学 経営情報イノベーション研究科博士前期課程1年 新聞 悠 ・島田高等学校2年 海瀬 千華 ・島田高等学校2年 櫻井 冠菜 ・島田高等学校2年 大石 凌誠 ・島田高等学校2年 土屋 友香 ・島田高等学校2年 櫻井 紺晴 ・島田高等学校2年 諏訪 匠海 ・島田市市長 染谷 絹代
	オブザーバー	・静岡県中部地域局 局長 吉良 光陽
	市関係者	<ul style="list-style-type: none"> ・島田市副市長 牛尾 伸吾 ・島田市教育長 山中 史章 ・島田市市長戦略部長 佐藤 修
	事務局	島田市市長戦略部戦略推進課 課長 小野 晶規 課長補佐 大石 寿宏 課長補佐 大石 一晴 主査 清水 靖子
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 島田市デジタル田園都市構想市民会議構成員 名簿 ・令和6年度第1回 島田市デジタル田園都市構想市民会議 席次表 ・【資料1】地方創生のこれまでの経緯 ・【資料2】令和5年度 第2期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価書(案) ・【資料3】第2期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総合評価書(案) ・【資料4】「しまだ大井川マラソンin リバティ」によるスポーツツーリズムの推進 	

○市長戦略部長 皆様、おはようございます。御多用のところ、御出席を賜り、誠にありがとうございます。
本日司会を務めさせていただきます、市長戦略部長の佐藤です。
どうぞよろしくお願いいたします。
それでは、定刻となりましたので、ただいまから、「令和6年度第1回 島田市デジタル田園都市構想市民会議」を開催させていただきます。
それでははじめに、染谷市長から御挨拶を申し上げます。

○市長 皆様おはようございます。
本日は御多用の中、第1回島田市デジタル田園都市構想市民会議に御出席を賜りまして誠にありがとうございます。
また、今回新たに構成員となられました皆様におかれましては、本会議に御参画いただきまして、大変嬉しく思っております。
今回約7割のメンバーが新人というふうに伺っております。
この会議は、本市の特徴を生かし、持続可能な社会を創生する、まさに官民一体となって、地方創生の実現に向けて歩みを進めていくことを目的として設置されたものであります。
これまでの経過については、後ほど事務局から説明をいたしますが、この市民会議は、平成27年5月に第1回会議を開催し、同年10月に島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略を策定いたしました。
この計画では、2060年における島田市の目標人口を8万人に定め、5年間の計画期間における主要な施策を位置づけております。
毎年度、取組の進捗状況について評価・検証を行っており、この市民会議の構成員の皆様からも御意見をいただきながら、計画を推進してまいりました。
その結果、総合戦略策定前に6万人ほどであった、2060年の将来推計人口が最新の推計では、約2,300人上昇しております。
そして、昨年度は国がデジタル田園都市国家構想総合戦略を策定したことを受けまして、本市においても、第2期総合戦略を改訂し、島田市デジタル田園都市構想総合戦略を策定いたしました。
この計画は、本市の持つ特性、魅力を生かしたまち・ひと・しごと創生というこれまでの流れを継承しながら、デジタルの力により、地方創生の取り組みを加速化、深化していくものです。
今年度から、このデジ田総合戦略のもと、デジタルの力を生かして、笑顔あふれる安心のまち島田の実現を目指し取り組んでいるところでございます。
さて、本日の会議では、これまでの実績に基づく第2期総合戦略

の評価書（案）について御意見を頂戴したいと思います。
また、会議の後半では、地方創生に関する島田市の取り組みについて御説明を申し上げ、構成員の皆様との意見交換の時間とさせていただきたいと考えております。
限られた時間ではありますが、皆様から忌憚のない御意見や御提言をいただき、本日の会議が有意義なものとなりますよう、皆様方のお力添えをお願い申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。
本日どうぞよろしくお願い申し上げます。

○市長戦略部長 ありがとうございます。
続きまして、本年度初めての市民会議でありますので、全ての皆様から自己紹介をお願いしたいと存じます。

（会議出席者自己紹介）

○市長戦略部長 ありがとうございます。
なお、本日は、名簿2番目の島田青年会議所 理事長 岩本 智様は、出席のお返事いただいておりますが、少し遅れているかもしれません。
また来ましたら御挨拶いただきたいと思います。
そして、7番目の島田市商工会 副会長 白坂 成吾 様は、所用のため欠席となっております。
それでは、次第に沿って、早速、議事に入っていきたいと思っております。
議事を進めるにあたりまして、島田市デジタル田園都市構想市民会議設置要綱の規定に基づきまして、議長を染谷市長をお願いしたいと思います。
それでは、よろしくお願ひいたします。

<議事(1)>

○市長 それではしばらくの間、議長を務めさせていただきますので、皆様、よろしくお願ひいたします。
早速、議事に入ります。
本日の議事は、3点ございます。
まずは、(1)「地方創生のこれまでの経緯について」、事務局から説明をお願いします。

○事務局 資料1の説明
地方創生のこれまでの経緯について説明

- ・「人口ビジョン」と「総合戦略」について
- ・総合戦略の評価について

<議事(2)>

○市長

ありがとうございました。

続けて、(2)「令和5年度 第2期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価書(案)」について、事務局から説明をお願いします。

○事務局

資料2の説明

令和5年度 第2期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価書(案)について説明

- ・全体の評価について
- ・基本目標ごとの評価について

○市長

ありがとうございました。

ただいまの説明につきまして、質疑、御意見、御質問等ありましたらお願いいたします。

初めて聞いた高校生の皆さんには、分かりにくいこともあったかと思いますが、市は目標を立てて施策を進め、この様に評価し、どういう進捗なのか、しっかり見ているということをお分かりいただけたら、今日はそれだけでも十分ではないかと思っています。

もし分からないことがありましたら、どうぞ聞いてください。

<議事(3)>

○市長

続きまして、(3)「第2期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略総合評価書(案)」について、事務局から説明をお願いします。

○事務局

資料3の説明

第2期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総合評価書(案)について説明

- ・評価対象と評価方法について
- ・「『人口減少』の克服・適応」の評価について
- ・「施策の目標」の評価について
- ・「重要業績評価指標(KPI)」の評価について

○市長

ありがとうございました。

ただいまの説明につきまして、質疑、御意見、御質問などありましたらお願いいたします。

もし無いようでしたら、後で自由な意見交換の方に時間を回させていただきますので、その時にお話ください。

では、ありがとうございました。

構成員の皆様からの御意見は、今のところ無しということでございますけれども、内部評価に合わせて、必要に応じて、皆様からいただく今日の御意見等を加えて修正し、また後日、皆様にお示しをさせていただきたいと思えます。

<意見交換>

○市長

続きまして、次第の5「意見交換」に移ります。
事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

資料4の説明

地方創生に関する島田市の取組 「しまだ大井川マラソンinリバティ」によるスポーツツーリズムの推進について説明

- ・島田市観光戦略プランの概要について
- ・しまだ大井川マラソンinリバティについて

○市長

ありがとうございました。

それではこれから意見交換会に入りたいと思えます。

今、スポーツツーリズムで「しまだ大井川マラソンinリバティ」に対する説明がありました。

この情報提供に対する御意見でも結構ですし、御提案、あるいは、本日全体を通しての感想など、何でも構いませんので自由に発言していただけたらと思えます。

○A構成員

マラソン大会では、いつも実況などで大会を盛り上げています。

私自身は、初回からボランティアに参加しています。

スポーツツーリズムの経済効果として、ランナーだけではなく、観客やランナーの家族にもお金を落としてもらうような、観客のおもてなしということもしてはどうかと感じています。

おもてなし広場とかいろいろありますが、ランナーが走っている5時間とか7時間の間に、例えば、市内でちょっとお買い物ができたり、宝来橋や博物館などに誘導したり、マラソンにプラスして、島田のいい所を見てもらってはどうかと思えます。

クラウドファンディングのお返しなど、観客に対してもおもてなし券を渡すなどして、ランナー以外の方にもお金を落としてもらう方法が何かないのかなど、説明をお聞きして思いました。

また、リバティコースをよく歩きますが、蓬萊橋には多くの方が来ています。

蓬莱橋だけではもったいないと感じるので、例えば、蓬莱橋にレンタサイクルを置いて、蓬莱橋から博物館を結ぶなど、1年中リバティコースを利用するような方法が何かあればいいと感じました。

○市長

ありがとうございます。

ヒントに満ちた御意見だと思います。

確かにランナーの皆様だけではなくて、ついてきていただく観客の皆様にもお楽しみいただけるマラソン大会ということで、工夫はしていますが、まだまだできることがあるかなということをお話で伺いました。

○B 構成員

マラソン大会がもちろん賑わっていることは重々承知していましたが、こんなに応募があって、様々な取り組みがされていることを改めて知ることができ、素晴らしいと思いました。

観光戦略プランの中にある、地域資源の新たな可能性を付加するという部分でも、リバティという既存のコースと大井川流域というところを、スポーツという視点から新たな価値を付加しているということを実感することができました。

スポーツツーリズムっていう点からいくと、マラソンに加えて、市内には様々なスポーツの取り組みがあります。例えば、大井川の少し上流に行くとパラグライダーやサップ、カヌーなど、自然の中でスポーツを体験することができ、大井川流域は日本の中でも優れた環境にあるとすごく感じます。

どのようにスポーツを活用して、滞在して地域にお金を落とすとしていってもらうのか、もう少し大きなスポーツツーリズムのグランドビジョンを事業者の方々などと一緒に作ることでしたら、すごく面白いのではないかと思います。

去年、商工会議所青年部の政策委員会がスポーツツーリズムに関する提言を作成しているので、観光課でも見てもらえたらと思います。

○市長

ありがとうございます。

すごくいい御提案をしていただいて、うれしく思います。

スポーツツーリズムはマラソンだけではなく、特に大井川上流は、ここにしかない自然環境の中で楽しんでいただける、スポーツがあるので、しっかり観光と結びつけて、滞在型のスポーツツーリズムにどう育てていけるかということが課題だということをお話いただいたと思います。

○C 構成員 お茶を消費していただくのに、大雑把に2杯のお客さんがいます。
その商品の価値を値段で判断し、そのときだけ消費する方、もう一方は、その商品の価格ではなく、バックボーンを知りたがるという知的好奇心を満たしたい方という形になります。
マラソンを走る方の大半は、その日のそのスポーツイベントを消費しに来ていると思います。
もう一方の知的好奇心旺盛な方々を満足させることを商品に活用すると、非常にコアな商品に繋がります。
例えば、蓬莱橋や川越人足について、歴史のアピールをスポットで紹介しているところが非常に残念に思っています。
その前の様々な積み重ねがあってできているので、そういったものをうまく繋げるような形でアピールすると、お金はいくらでも払うような人たちが結構います。
そういったアプローチの仕方もあるのではないかと個人的には思います。

○市長 ありがとうございます。
その商品のバックグラウンドを知りたい方たちの好奇心を満たして満足していただくという、そういうツーリズム、あるいはまちづくりの方法があるのではないかというお話いただきました。
大変示唆に富んだ御意見だったと思います。

○D 構成員 今年から自治会の会長やっていて感じることは、今までは夏になると夏祭りや盆踊り大会など結構豪勢にやっていたが、今は考え方が変わり、楽をしたいという考え方で盆踊りをやめてしまいました。
せっかくうちの自治会にも結構な人数いるので、総合的に考えて何がいいのかと思うが、やる方が何となくやりたくないということになり、それがちょっと残念だと思っています。
うちの自治会と周辺も合わせると1,500世帯ぐらいあり、外からも入ってくるので、場所的にもいいところであるが、活気がないと感じています。
率直に言うと、何かメインになるものがなく、伊太の「ゆめみらいパーク」もお店もなく閑散としていて、そういうところもつたいないと思います。
もう少し考えていただければいいかなと思っています。

○E 構成員 マラソン大会のPRについてSNSやホームページ等で行われているということですが、島田市の子供たちがマラソン大会のこと

を知らない。

これでは、何年かたったときにこういうことがあったんだくらいの話になってしまいます。

これからを支えていくのは間違いなく子供たちであるので、もっと子供たちに浸透させ、子供たちが活気づくようなマラソン大会をつくってあげることがもっと大事になってくると思います。

ボランティアなども高校生の方々にもっとお願いをすることも大事で、ここに携わることで将来のおもてなしの心が広がってくると思います。

マラソン大会自体をPRするよりは、市民に対してもっとPRし、来てくれた人におもてなしを心がける形をとらないと、目指しているマラソン大会の最終的な実現にはいかないのではないかと思います。

また、街中の乾杯タウンなど、島田市の街中に誘導するというのはとてもいいことだと思っていますが、マラソンをしたら帰るといふ方の方が多く、その理由には、街中に浸透していないというのがあると思います。

理解してくれている事業者さんといえば、そうでない事業者さんもいて、喜んでランナーさんがいるのも事実ですが、そうでないところもあるのではないかと思います。

○市長

ありがとうございました。

マラソン大会の2,000人近いボランティアさんの中には、中学生、高校生の方たちも大勢の参加していただいています。

子供たちがマラソン大会を知らないということで、島田が誇る大きなイベントですから、もっと子供たちに浸透させてほしいというお話だったと思います。

これも一つの課題として受け止めました

○F 構成員

議案の2と3のタイトルについて、違いがあまり明確ではなく、事前に資料を読みましたが、なかなか理解できないところがありました。

説明を聞いて、議案2が令和5年度単年度の分析で、次が4年間の分析であることが分かったので、もう少し議題のタイトルに工夫をしてもらえたらと思います。

この中で、高速交通網を活かした都市基盤の整備を謳っているが、静岡空港、島田金谷インターに加え、行政区域は違うが吉田インター周辺もあり、これも島田市にとってポテンシャルの高いところであると思います。

はばたき橋から空港まで行く道も開通します。
初倉地区の開発、特にそこにおける高速交通網とそれを繋ぐ市道
県道の整備の充実をぜひお願いしたいと思います。

○市長

ありがとうございます。
分かりにくい議事のタイトルのつけ方で申し訳なかったと思いま
す。
以後気をつけてやっていきたいと思えます。
また、吉田インター周辺のそのポテンシャルや新しい道路網のこ
とは、初倉地区のまちづくりと島田全体の高速交通ネットワーク
のときも、いつも「東名」「新東名」「国道1号線」「473」
とこういう言い方で言っています。
このあたりのこともしっかり位置づけていくということで御意見
を伺いました。

○G構成員

観光課と島田市観光協会は、一緒になって市の観光振興に取り組
んでいるところです。
先日の花火大会や説明にあったマラソン大会もそうですが、市内
のイベントは結構多くあります。
来年は島田大祭や金谷茶まつりが開催されるということで、非常
にイベントの多い地域だと感じているところです。
今回の総合戦略で評価された成果指標を見ていくと、交流人口自
体は増えてきているが、消費単価は落ち込んでいる状況になって
います。
イベントと観光消費は硬く結びつくかという、あまりそうでは
なく、イベントの役割と観光消費を上げる役割はちょっと変わっ
てくると思っているところです。
日にち限定のイベントに力を入れ続けても、全体の観光消費に跳
ね返ってくるものではないのではないかと、観光協会
で取り組みをしながら感じているところです。
今回、成果で上がってこなかった観光消費を、何とか上げていけ
るように頑張っていきたいと思っていますが、そこを頑張るの
は、観光協会や行政だけではなく、地域の事業者さんたちと一緒
に考えていかなければいけないと思っています。
パラグライダーやサップ、カヤックなど大井川流域でやれること
がたくさんあり、現在、観光協会が進めている「大井川でやるべ
き100のこと」としてカテゴライズし、そこで取り組んでいただい
ている事業者さんと一緒に、観光振興を考える会というのを、毎
月、意見交換をしながら進めているところです。
そういった取り組みを通じて、それぞれの事業者さんが取り組む

商品を、観光協会と観光課が一緒になって外に向けて発信するところに、力を入れていけたらいいと思っています。

もちろんマラソン大会や花火大会など、そうしたイベントを通じて、地域のことを知っていただくという効果は非常に高いと思っていますので、イベントを通じて来ていただいた方に地域を回っていただいて、今言ったようないろんなやれることがあるというものを知っていただいて、商品に繋げていくというような取り組みができればと思っています。

○H構成員

今、本校の生徒がインターハイに行っています。

それから、本校のOBの高木さんがパラカヌー競技でパリパラリンピックに出場するというので、本校の近くに横断幕を掲示し、市長表敬もさせていただき、本人も本当に喜んで頑張っています。

学校の近くだけではなく駅前など多くの方に見てもらえるようなところに横断幕を出し、島田市は、高校でも優秀なスポーツ選手をたくさん輩出している、そして、そういう優秀な選手たちがわざわざ他市他県の高校に行かなくても、島田市で育っているということ、中学生や小学生などにアピールするということも、戦略の一つとしてあるのではないかと思います。

○市長

新しい庁舎になって駐車場も整備できると横断幕を掲示する場所を作りますので、しっかりと市の方でもやってまいりたいと思います。

○I構成員

評価書の中で、子供が「自分に良いところがあると答えた割合」のところで、基準値が元々小学校は高かったということもありますが、目標値を超えてなかったところが少し気になりました。

自己肯定感はずっと言われてきていて、それを高めるために、私達は子供のことを褒めたり良さを見つけたり、あなたにはこういうところがあるよということをずっと伝え続けてきています。

最近、それだけでは駄目なのではないかと思っており、子供たちが自分たちに身につけた力を生かせる、子供が活躍できる場があることが大事ではないかと思っています。

先日、「全国学力・学習状況調査」があり、その中で児童生徒質問紙というものがあります。

例えば、「自分には良いところがある」や「人の役に立つ人間になりたい」という項目は、割と高い数値でしたが、「地域や社会を良くするために、自分が何かしたいと思うか」の質問は、比較的低い数値でした。

そこで思いましたが、スポーツツーリズムや大井川マラソンだけではなくて、小学生、中学生、高校生がもっと積極的に関わっていけるような何かがあったらいいと思っています。

先ほどからボランティアの言葉も出ていますが、ボランティアを学校で何人とか希望する人がボランティアに出ることだけではなくて、もっと能動的に関われる子供たちが多くなるといいと思っています。

そのために、例えば大井川マラソンに関わってもらおうとすると、大井川マラソンを成功させたい、大井川マラソンに来た方に喜んでもらいたいという目的で参加する子供たちはいっぱいいると思います。

そこで、例えば、島田市を元気にしたい、島田市をもっと好きになってもらいたい、もっと全国の人たちに島田市のことをよく知ってもらいたいというような、その上にある目標を理解した上で、子供たちからアイデアを募集するなど、子供たちが関わっていけるような部分を作っていただくことで、大井川マラソンやスポーツツーリズムに関わって、島田市も自分も元気にする一つの役割を担ったということが、子供の自信になっていくのではないかと考えています。

○J 構成員

例えば、私達がこれから大学進学のために県外に行って、また卒業したら島田市に帰ってきてここで生活するというように、もっと、若い人たちが、島田市から出てまた戻ってきて、ここで子育てなどもしたいと思えるような、もっと地域の繋がりを高めてあたたかい、賑やかで豊かな島田になったらいいなと思いました。

○市長

ありがとうございます。

島田に戻ってきたいって思ってくれるようにするには、何が一番ポイントだと思いますか。

○J 構成員

もっと、私達高校生が島田を好きになって、地域の人と繋がれるようなイベントができたらいいと思っています。

○K 構成員

マラソンの話の中で、たくさんのボランティアの方が参加してくださっているという話があったと思います。

私の場合は、こういったイベントやボランティアとしての参加の経験がないので、初めて参加するということで結構ハードルの高さを感じてしまっている部分があります。

例えば、先ほどのお話の中にあつた、大会に参加したランナーの

方への記念品のように、ボランティアの方にも記念品を配ったり、ランナーの方がより走りやすくなるような環境を整えることを目的とした、クラウドファンディングなどの募金をするなど、島田市民としてのマラソン大会への参加の仕方を増やしたりすると、マラソン大会への関わりを持つきっかけとなるのではないかと感じました。

○L 構成員

学校でよく、島田市に何が欲しいかという授業をやりますが、千葉県や大阪府にあるような大型遊園地が欲しい、静岡駅前にあるような大型商業施設が欲しいというような意見がよく出てきます。

島田市にそれを求めるわけではありませんが、島田の若者は、大体、最近のSNSの普及もあり、世界、日本や、新しい方、流行っているものといった、島田市以外に視線がいつてしまう傾向があります。

島田市の伝統を潰せとは言いませんが、島田の若者の視線が島田市内に向くような新しい何かがあればいいと思いました。

○市長

ありがとうございます。

若い方たちの意見を聞くと、今のような御意見もたくさんいただきます。

ただ、大きな都市にできることと、10万人都市にできることは違います。

需要と供給のバランスがなければ、そのような施設はなかなか出てきてくれません。

そのような中で、島田は、魅力あるまちをどうつくるかということで、この総合戦略を推進しています。

若い方たちに地域との繋がり、あるいは自分の生まれ育ったまちを好きになっていただける、戻ってきたいまちだと思っていただけるように頑張っていきたいと思っていますし、そのための総合戦略だと考えています。

まだまだ御意見尽きないところでございますが、最後にオブザーバーとして御参加いただいております、中部地域局の吉良局長より本日の会議について御意見をいただけたらと思います。

○中部地域局長

総合戦略の評価というところで、冒頭、市長から推計人口を上回って人口が推移しているということ。

社会移動については、転入超過での推移、また、保護者の転入超過に伴ってということになるかと思いますが、10歳未満の転入超過で推移しているということ。

これは、子育てしやすいまちというところの成果が結びついているというところがあると思います。

また、島田の大井川マラソンについてお話がありましたが、観光の指標で見ても、当然コロナの影響があり設定した目標値には届いていませんが、平成30年度の基準値を上回って推移しているということ。

単年度の評価に加えて総合評価ということで、期間中の評価をされているというのは、県のPDCAサイクルよりもかなり精緻な取り組みになっていると思います。

こういったPDCAサイクルを徹底されているということが、施策の改善に繋がって、人口減少対策の深化にという好循環に繋がっているのではないかと感じました。

また、個別の施策についても、官民連携に繋がる各界各層の御意見、また時代を担う多くの若者の御意見を聞かれているということで、こういった県にもない特色ある取り組みを、また施策の改善に繋げていただければと思います。

○市長

ありがとうございました。

本日は、皆様から前向きな御意見、御提案が出され、とても有意義な意見交換の時間になったのではないかと思います。

発言することのできなかった意見がありましたら、担当課まで寄せていただけたらと思います。

今日の御意見の中にはありませんでしたが、KPI目標値の設定の仕方や評価の見方について、たった4年、5年であっても社会の変化が激しいことから、今のKPI目標値としてふさわしいのかと考えます。

例えば、資料3の17ページに「保育所等の利用申込者に対応する待機児童の割合」がありますが、ずっとここ3年ぐらい待機児童はゼロでした。

でも今年、保育士の先生方が足りなくなる保育園が出たことで、一気に待機児童が8人出てしまいました。

こうしたことが、その施策の評価としてDになるのか。

このようにいろいろ細かく分析をしていくことで見えてくるものがあると思っております。

全体の総合計画についても、これまでは前期4年、後期4年と8年間の総合計画を、それより昔は10年分の総合計画を作っていました。

ただ、今は10年先を見通せない時代になり、激しく社会が変動し、年々変化しています。

そのような中であって、島田市の総合計画がどのようなものであ

るべきなのかということについても、皆様方の御意見をしっかりといただき、受け入れながら作成し、島田が目指す未来像が現れ、実施計画で毎年ローリングしながら、総合計画がまさに生きる、羅針盤になれるようなものにしてまいりたいと考えているところでございます。

ぜひ、今日出た御意見以外にも、忌憚ない御意見を、帰りに担当課にでも構いませんので、お伝えいただければありがたく思います。

議事の進行を事務局に戻したいと思っております。

○市長戦略部長 皆様、長時間にわたり議論いただきましてありがとうございます。

その他の部分になりますが、次の市民会議の予定でございます。

令和7年3月21日（金）午後10時から、市役所3階の大会議室での開催を予定しているところでございます。

構成員の皆様には、近くになりましたら改めて御連絡をさせていただきます。

最後に、全体を通じて御質問、御意見がございましたら、ここで御発言いただければと思います。

この後お気づきのことがありましたら、事務局へお話しいただければと思います。

それでは、以上をもちまして、「令和6年度第1回 島田市デジタル田園都市構想市民会議」を閉会とさせていただきます。

本日は、御多用の中、御出席いただきましてありがとうございます。

～終了（11：55）